

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第71号（通巻第138号）

2008年7月31日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、**変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。**

「スポーツ教育再考」～第19回教育フォーラムのご報告～

山梨大学教育人間科学部第19回教育フォーラムが7月27日（日）午後2時からJ号館A会議室にて開催されました。本学保健体育講座の遠藤俊郎の司会により、本学保健体育講座の小山勝弘、学外から菅義徳（慶應義塾幼稚舎教諭、元カバディ日本代表）、それに梅崎高行（九州ルーテル学院大学准教授、元湘南ベルマーレユースコーチ）の各氏が「スポーツ教育再考」をテーマに、それぞれご講演いただきました。実践センターからは石川、角田が準備及び当日の運営にあたりました。

教育ボランティア（社会参加実習）活動状況のご報告

今、甲府市・甲斐市をはじめ県内の各地で100名を超える梨大生の皆さんが教育ボランティア活動に頑張っています。このボランティア活動を通じて、学生の皆さんが、教育実習とは違った観点から学びを深めています。後期も、10月15日（水）にボランティアガイダンスの開催を予定しています。

《学生の皆さんの声》

「中学生の今の実態を知ることができた」「自分の非力さを感じた。それは教えることの難しさや知識のなさすぎる点です」「中学生は難しい時期なので、反発の問題があるけれど、教える立場は保つべきだということ」「生徒たちとふれ合うことで、自分自身が生徒たちからパワーをもらっている気がします。生徒の、分かった、という声が励みになります」「担任の先生の指導方法を見ていて、こういう場合はこう言ったらいいんだ、とか、こんな方法もあるんだ、と勉強できます」



（甲斐市教育委員会）



（湯田小学校）

第2回教育臨床研究会のご報告

第2回教育臨床研究会が7月30日(金)10時半よりL号館4F440教室で行われました。岡輝彦教諭(塩山南小学校)を講師に迎え、「小学校の特別支援教育を考える～情緒障害特別支援学級の実践から～」をテーマにお話していただき、保護者、教員など14名の参加がありました。次回は、10月に山梨県立高等学校の先生より「高等学校における特別支援教育」をテーマにお話いただく予定です。日程詳細は決まり次第校内ポスター他でご連絡しますが、実践センター谷口までお問い合わせくださっても結構です。ご関心のある方は、どうぞ直接会場(J号館5F多目的教室)にお出かけください。

平成20年度夏季研修についてのご案内

1 第2回期間採用者等研修

日時：平成20年_8月1日(金) 9:30～15:30(一部17:30)

場所：山梨大学 教育人間科学部 J号館5階 A会議室他

対象：期間採用者や非常勤等臨時的任用教員・学生

研修内容：[授業展開の工夫][児童・生徒理解生徒指導の工夫][文章力・言語表現力]

2 特別支援教育基礎研修

日時：平成20年 8月8日(金) 9:30～12:00

場所：山梨大学教育人間科学部 J号館5階 A会議室

対象：一般市民・教員・学生

講演：「発達障害の診断と治療への序章」 国立甲府病院小児科医師 中村 幸介氏

3 若手教員研修

日時：平成19年 8月8日(金) 13:00～17:30

場所：山梨大学教育人間科学部 J号館5階多目的教室 他

対象：教員(採用10年以下程度)・学生

講演：「学校現場におけるカウンセリングマインド」山梨大学教授 谷口 明子
分科会(グループディスカッション)：校種別

(付 記)

費用：研修は無料です。

申し込み：電話、FAX、メール、Webで申し込むことができます。

当日まで申し込みを受け付けています。

山梨大学教育人間科学部 附属教育実践総合センター
電話番号 055-220-8325
FAX番号 055-220-8790
メール：jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
Web：http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

* 駐車場：ご利用の場合は、申し込みの際にお申し出下さい。

第2回「教育相談室連絡協議会」のご報告(山梨大学地域社会連携融合プロジェクト)

第2回教育相談室連絡協議会を7月22日に開き、1学期の相談状況、附属学校園への支援等について協議しました。今年度から新たに山梨県教育委員会及び山梨県教育四者と「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」を開始しました。この事業につきましては、県内の保護者の方から7件の相談が寄せられています。次回は12月2日を予定しています。教育相談室に関するご意見や利用についてはセンターまでご連絡なくお寄せください。

「教師相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

教育相談に教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いいたします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品を貸し出します。借りる際には使用ノートに記入をお願いします。

「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口は行って左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。